

キャラクター名

葛葉トウカ（くずのは――）

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	巫女
	ソラリス					
オプショナル			年齢	246歳	性別	女性
覚醒	探求	衝動	妄想		初期侵食率	33%
出自	使命	経験	脚光		邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	2
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	2
精神	2	0	0			2	戦闘移動	7
社会	6	0	0			6	全力移動	14

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		R C			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アスクレピオスの杖（ポールアーム相当品）	白兵	1r+1	6	5		行動値-2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
コネ：UGN幹部		ロイス			
コネ：要人への貸し					
		最大財産P: 12 残り財産P：			

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
触媒	P	N			
"少年"	P 慈愛	N 悔悟			
都築京香	P 遺志	N 猜疑心			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	+5	常時		自身			
効果：人になれる。衝動判定+LvD								
オリジン：サイバー	2	2	マイナー		自身			
効果：シーン中社会判定の達成値+Lv*2								
帰還の声	1	6	オート	視界	単体			
効果：エフェクト使用回数制限を1回復、1/シナリオ。								
奇跡の雫	1	6	オート	視界	単体			
効果：戦闘不能を回復しHPをLv*5回復。1/シナリオ。								
タブレット	5	2	オート	視界	単体			
効果：ソラリスエフェクトの射程を視界化、Lv/シーン。								
多重生成	1	3	オート	視界	Lv+1体			
効果：タブレットの対象をLv+1体化。								
活性の霧	5	3	セットアップ	視界	単体			
効果：攻撃力+Lv*3の支援。								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

概略：
「やあ少年。……またつまらない仕事を持ってきたのかい、勘弁してくれよ」
「キミという一輪の花が枯れて最期の一息を吐き出すその時まで、ボクにとってはいつまでも"少年"なんだよ。少年」
「カミサマなんて柄じゃないんだよ。キミたちの願いはこの身には大きすぎる。命に関わるものなんかは特にね」

いくつになってもこちらのことを少年呼びしてくるダウナー系狐耳お姉さん支部長。

解説：
エレキテルによる心肺蘇生の機械を起源とするレネゲイドビーイング。長年生きるうちに口伝により性質が変化し死者蘇生の狐の神様という属性が付与されている。
○町の神社にて「反魂稲荷」という神様として崇められていたところをUGNに補足され、UGN支部長として協力することになった。
性格は自堕落で飽きっぽく、いたずら好き。強力な支援能力と回復能力を有するが本気を出すことは稀。
曰く「本気を出すと神様になってしまう」から。ほどほどの距離感で人と関われる支部長という立場は気に入っているらしい。

――以下読まなくていい奴――

反魂狐の伝承について
下総国の一部地方には、「反魂狐」と呼ばれる狐の妖怪に関する伝承が古くより伝わっている。これは死者に化けて現れるとされる狐の一種であり、千葉県中央区に鎮座する五田保稲荷神社では、この反魂狐を「反魂稲荷」として配祀神に加えており、地域における信仰の痕跡は今日まで途絶えることなく続いている。
狐が死者の蘇生を行うという他の地方では見られない特徴的な伝承だが、この伝承の由来を探るうえで注目すべき資料として、幕末期に編まれた怪談聞書の類がある。『列国怪談聞書帖』には、反魂狐の由来をエレキテルに求めるとする興味深い記述が確認される。同書は諸国の怪異をまとめた著作であるが、当該箇所